



2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月7日

上場会社名 株式会社 吉番屋

上場取引所 東名

コード番号 7630 URL <https://www.ichibanya.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 葛原 守

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 林 賢治 TEL (0586) 81 - 0792

半期報告書提出予定日 2024年10月11日

配当支払開始予定日 2024年11月15日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	29,599	10.4	2,405	△2.5	2,499	△4.1	1,554	9.6
2024年2月期中間期	26,822	17.3	2,467	87.2	2,606	58.6	1,418	38.8

(注) 包括利益 2025年2月期中間期 2,114百万円 (18.2%) 2024年2月期中間期 1,788百万円 (21.0%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	9.75	—
2024年2月期中間期	8.89	—

(注) 当社は、2024年3月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。「1株当たり中間純利益」は、当該株式分割後の数値を記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期中間期	44,720	32,246	70.9	198.74
2024年2月期	44,032	31,378	70.2	193.83

(参考) 自己資本 2025年2月期中間期 31,710百万円 2024年2月期 30,920百万円

(注) 当社は、2024年3月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。「1株当たり純資産」は、当該株式分割後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2025年2月期	—	8.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	8.00	16.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2024年3月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2024年2月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2025年2月期（予想）については、当該株式分割後の数値を記載しております。

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,500	11.5	5,200	10.3	5,400	7.5	3,100	15.4	19.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー

除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年2月期中間期	159,630,000株	2024年2月期	159,630,000株
2025年2月期中間期	70,026株	2024年2月期	105,215株
2025年2月期中間期	159,537,223株	2024年2月期中間期	159,532,646株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

(注) 当社は2024年3月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、「添付資料」P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年3月1日～2024年8月31日)における当社グループを取り巻く環境は、雇用・所得環境の改善による個人消費の回復や、訪日外国人数の増加によるインバウンド需要の拡大が見られたものの、各種原材料費や物流費、人件費等さまざまなコストの上昇から、依然として厳しい状況が続きました。

こうした状況の中、当中間連結会計期間の業績は、売上高が295億99百万円(前年同期比10.4%増)、営業利益は24億5百万円(同2.5%減)、経常利益は24億99百万円(同4.1%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は15億54百万円(同9.6%増)となりました。

売上高は、既存店売上高が好調に推移したこと等から増収となりましたが、利益面につきましては、店舗で使用する食材価格の高騰や、物流費・人件費等の本部販管費の増加等により、営業利益・経常利益は前年を下回りました。

親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、店舗に係る減損損失の減少等から前年を上回る結果となりました。

当中間連結会計期間における分野別の取り組み状況は以下のとおりであります。

(国内CoCo壺番屋)

直営店とフランチャイズ加盟店を合計したグループ全体の店舗売上高は、全店ベースで451億29百万円(前年同期比7.6%増)となりました。また、既存店ベースでは同8.6%増と好調に推移いたしました。

客単価は、昨年12月に配達代行価格を、3月にテイクアウト価格をそれぞれ改定したことに加え、8月にベースのカレーやトッピング等のメニュー価格を改定したこと等から、前年同期比6.2%増となりました。

客数につきましては、4月に期間限定メニュー「THEチキンカレー」の販売にあわせて、当社アンバサダーの俳優・山田裕貴さんが出演するテレビCMを全国で放映した他、5月には、昨年SNS等で反響のあった「肉塊シリーズ」の第2弾として「肉塊トンテキカレー」を数量限定で販売する等、幅広い顧客層の獲得に繋がるマーケティング活動を実施したこと等から、前年同期比2.3%増となりました。

また、店舗数につきましては、新規出店が4店舗あったものの、不採算店舗の撤退等により5店舗の退店があったことから、前期末から1店舗減少し、1,199店舗となりました。

(海外CoCo壺番屋)

全店ベースの店舗売上高は、91億99百万円(前年同期比14.5%増)となりましたが、為替の影響を除いた既存店ベースでは、引き続きアメリカが堅調に推移したものの、フランチャイズ展開する韓国やタイ等のエリアが前年の水準を下回り、前年同期比2.3%減となりました。

また、店舗数につきましては、新規出店が14店舗あったものの、中国や韓国で不採算店舗の撤退を行う等12店舗の退店があったことから、前期末から2店舗増加し214店舗となりました。

(国内子会社事業)

「旭川成吉思汗(ジンギスカン)大黒屋」は、これまで展開してきた北海道・東京エリアに加え、3月に愛知県に初出店したことで、店舗数は5店舗に増え、店舗売上高は6億円(前年同期比110.9%増)となりました。

また、「麵屋たけ井」は、今後の店舗展開に備え、4月に麺やラーメンスープを製造するセントラルキッチン(京都府)を竣工いたしました。5月には滋賀県で新規出店し、店舗数は9店舗となり、店舗売上高は4億36百万円となりました。

なお、「博多もつ鍋前田屋」の店舗売上高は4億23百万円となり、8月にはグループ化後初となる新規出店を福岡県で行い、店舗数は5店舗となりました。

当社グループは、飲食事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は447億20百万円となり、前連結会計年度末比6億87百万円増加いたしました。このうち流動資産は217億26百万円となり、前連結会計年度末比1億84百万円増加いたしました。これは主に売掛金が8億3百万円増加したこと等によるものであります。また固定資産は229億93百万円となり、前連結会計年度末比5億2百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物が3億12百万円増加したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末における負債は124億73百万円となり、前連結会計年度末比1億80百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が2億31百万円減少したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末における純資産は322億46百万円となり、前連結会計年度末比8億68百万円増加し、自己資本比率は前連結会計年度末の70.2%から70.9%となっております。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ9億47百万円減少し、147億60百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、18億13百万円(前年同期は27億53百万円の増加)となりました。これは、主に税金等調整前中間純利益23億77百万円の計上、減価償却費7億97百万円、減損損失1億84百万円の非現金支出費用があった一方で、法人税等の支払額10億55百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、14億93百万円(前年同期は22億27百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出9億41百万円、無形固定資産の取得による支出5億2百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、14億97百万円(前年同期は16億61百万円の減少)となりました。これは、主に配当金の支払額12億75百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月4日付の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,899,596	15,141,168
売掛金	3,403,946	4,207,788
商品及び製品	1,004,452	875,720
仕掛品	41,495	50,558
原材料及び貯蔵品	273,876	300,098
その他	918,705	1,151,513
流動資産合計	21,542,074	21,726,847
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,150,074	5,462,388
機械装置及び運搬具(純額)	595,159	680,811
土地	5,201,391	5,178,844
リース資産(純額)	284,048	194,061
その他(純額)	710,654	729,802
有形固定資産合計	11,941,328	12,245,907
無形固定資産		
のれん	2,693,742	2,534,400
その他	1,498,089	1,690,333
無形固定資産合計	4,191,832	4,224,733
投資その他の資産		
投資有価証券	435,860	512,031
繰延税金資産	1,143,660	1,173,637
差入保証金	4,469,022	4,527,966
その他	311,174	311,220
貸倒引当金	△2,105	△2,105
投資その他の資産合計	6,357,611	6,522,751
固定資産合計	22,490,772	22,993,392
資産合計	44,032,846	44,720,240

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,581,758	3,004,891
1年内返済予定の長期借入金	6,432	—
未払金	1,898,087	1,778,926
未払法人税等	1,164,631	933,268
賞与引当金	385,004	413,738
株主優待引当金	108,464	171,899
その他	1,059,310	798,599
流動負債合計	7,203,688	7,101,324
固定負債		
長期借入金	64,264	—
リース債務	117,841	125,227
退職給付に係る負債	1,186,394	1,193,368
長期預り保証金	3,464,467	3,419,091
資産除去債務	552,211	575,890
その他	65,596	58,684
固定負債合計	5,450,775	5,372,262
負債合計	12,654,463	12,473,586
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,503,270	1,503,270
資本剰余金	1,389,950	1,392,593
利益剰余金	27,223,274	27,501,893
自己株式	△108,714	△72,367
株主資本合計	30,007,779	30,325,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97,989	150,951
為替換算調整勘定	809,460	1,229,169
退職給付に係る調整累計額	5,560	5,287
その他の包括利益累計額合計	913,010	1,385,407
非支配株主持分	457,592	535,855
純資産合計	31,378,383	32,246,653
負債純資産合計	44,032,846	44,720,240

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
 (中間連結損益計算書)
 (中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	26,822,463	29,599,964
売上原価	13,873,615	14,922,504
売上総利益	12,948,847	14,677,460
販売費及び一般管理費	10,481,436	12,271,829
営業利益	2,467,410	2,405,631
営業外収益		
受取利息及び配当金	19,476	13,385
受取家賃	442,546	437,426
その他	61,148	51,667
営業外収益合計	523,171	502,479
営業外費用		
支払利息	6,619	3,288
賃貸費用	366,169	340,720
その他	11,681	64,953
営業外費用合計	384,470	408,962
経常利益	2,606,111	2,499,148
特別利益		
店舗売却益	20,364	69,497
その他	587	2,346
特別利益合計	20,951	71,844
特別損失		
固定資産除却損	2,782	8,801
減損損失	383,475	184,418
特別損失合計	386,258	193,220
税金等調整前中間純利益	2,240,804	2,377,772
法人税、住民税及び事業税	858,166	830,733
法人税等調整額	△60,977	△42,700
法人税等合計	797,188	788,032
中間純利益	1,443,616	1,589,739
非支配株主に帰属する中間純利益	25,502	34,922
親会社株主に帰属する中間純利益	1,418,113	1,554,817

(中間連結包括利益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	1,443,616	1,589,739
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,461	52,961
為替換算調整勘定	314,409	472,422
退職給付に係る調整額	2,358	△273
その他の包括利益合計	345,229	525,110
中間包括利益	1,788,845	2,114,850
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,729,946	2,027,214
非支配株主に係る中間包括利益	58,898	87,635

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,240,804	2,377,772
減価償却費	828,095	797,459
減損損失	383,475	184,418
のれん償却額	42,799	159,342
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20,059	23,177
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	39,044	6,580
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	9,083	63,435
受取利息及び受取配当金	△19,476	△13,385
支払利息	6,619	3,288
固定資産売却損益 (△は益)	△587	△2,346
店舗売却損益 (△は益)	△20,364	△69,497
固定資産除却損	2,782	8,801
売上債権の増減額 (△は増加)	△509,023	△754,770
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,139	103,878
仕入債務の増減額 (△は減少)	472,469	395,729
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△11,506	△120,327
長期預り保証金の増減額 (△は減少)	△39,943	△45,376
その他	△165,431	△258,767
小計	3,276,759	2,859,412
利息及び配当金の受取額	16,004	13,385
利息の支払額	△6,619	△3,288
法人税等の支払額	△532,752	△1,055,687
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,753,392	1,813,822
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△180,410	△364,525
定期預金の払戻による収入	11,150	206,925
有価証券の取得による支出	△7,996,528	—
有価証券の償還による収入	8,000,000	—
有形固定資産の取得による支出	△802,587	△941,081
無形固定資産の取得による支出	△440,503	△502,412
店舗売却による収入	27,933	127,696
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△816,813	—
その他	△30,020	△20,342
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,227,780	△1,493,739
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△34,292	△64,264
リース債務の返済による支出	△233,156	△142,292
配当金の支払額	△1,275,821	△1,275,522
その他	△118,472	△15,869
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,661,742	△1,497,948
現金及び現金同等物に係る換算差額	178,672	230,772
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△957,458	△947,093
現金及び現金同等物の期首残高	17,678,123	15,707,366
現金及び現金同等物の中間期末残高	16,720,665	14,760,273

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)及び当中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

当社グループは、飲食事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

国内外の店舗売上高及び出店の状況

①「国内カレーハウスCoCo壺番屋売上高」(前年同期比増減率)

(単位：%)

	第1四半期 (2024/3-5)	第2四半期 (2024/6-8)	中間期 (2024/3-8)
全店売上高	6.3	8.9	7.6
既存店売上高	7.3	9.8	8.6
客数	3.1	1.5	2.3
客単価	4.1	8.2	6.2

(注) 店舗売上高は、直営店とFC店の売上高を合計したものであります。

②「海外国別カレーハウスCoCo壺番屋売上高」(前年同期比増減率)

(単位：%)

	第1四半期	第2四半期	中間期
全店売上高	5.7	5.3	5.5
既存店売上高	△2.1	△2.4	△2.3
連結子会社計	0.2	0.3	0.2
中国	0.8	5.3	3.0
イギリス	3.0	10.0	6.5
台湾	△2.7	△5.8	△4.3
アメリカ	3.3	2.7	3.0
香港	△2.6	△4.2	△3.4
FC展開エリア計	△4.6	△5.2	△4.9
タイ	△9.2	△7.8	△8.5
韓国	△6.4	△8.7	△7.6
その他FC展開エリア計	1.0	△0.8	0.1

(注) 1. 連結子会社は、該当会計期間である2024年1月から2024年6月の実績であります。

2. その他FC展開エリアは以下の国々であります。

インド、アメリカ、シンガポール、インドネシア、フィリピン、中国、ベトナム
(※アメリカと中国は、当社連結子会社の他にFCによる展開も行っております。)

3. 算出にあたっては、為替の影響を除き計算しております。

③「カレーハウスCoCo壺番屋既存店売上高の予想値との比較」(前年同期比増減率)

(単位：%)

		第1四半期	第2四半期	中間期
国内店舗	予想値	9.2	3.8	6.4
	実績値	7.3	9.8	8.6
	差異	△1.9	6.0	2.2
海外店舗	予想値	1.4	6.3	3.9
	実績値	△2.1	△2.4	△2.3
	差異	△3.5	△8.7	△6.2

(注) 1. 予想値は2024年4月4日の決算短信で公表いたしました当期の業績予想の試算にあたって設定した数値であります。

④「国内業態別出店状況」

(単位：店)

		①新規出店数		②退店数		純増店舗数		2024年8月末 店舗数	
			内、直営		内、直営		内、直営		内、直営
㈱老番屋	CoCo老番屋	4	4	5	-	△1	2	1,199	109
	パスタ・デ・ココ	-	-	-	-	-	-	27	3
	その他	-	-	-	-	-	-	2	2
	小計	4	4	5	-	△1	2	1,228	114
国内 子会社	大黒屋	1	-	-	-	1	-	5	4
	麵屋たけ井	1	1	-	-	1	1	9	9
	前田屋	1	1	-	-	1	1	5	5
	小計	3	2	-	-	3	2	19	18
合計		7	6	5	-	2	4	1,247	132

(注) 1. CoCo老番屋では、直営店からFC店への譲渡を8店舗、FC店から直営店への譲受を6店舗実施いたしました。

2. 大黒屋では、㈱老番屋がフランチャイジーとして出店いたしました。

3. 対象期間は、2024年3月～8月の実績であります。

⑤「海外国別出店状況」

(単位：店)

		①新規出店数	②退店数	純増店舗数	2024年8月末 店舗数
連結 子会社	中国	-	4	△4	31
	イギリス	-	-	-	2
	台湾	3	1	2	37
	アメリカ	-	-	-	6
	香港	-	-	-	8
	小計	3	5	△2	84
FC 展開 エリア	インド	-	-	-	3
	タイ	-	2	△2	49
	韓国	5	5	0	36
	アメリカ	-	-	-	5
	シンガポール	-	-	-	4
	インドネシア	2	-	2	9
	フィリピン	2	-	2	16
	中国	-	-	-	2
	ベトナム	2	-	2	6
小計	11	7	4	130	
合計		14	12	2	214

(注) 1. 対象期間は、各国とも2024年3月～8月の実績であります。

2. 海外店舗の業態はすべてCoCo老番屋であります。